

2022年度 傾斜的研究費（全学分）科研費チャレンジ 研究報告書

【研究費区分】：科研費チャレンジ（B）

【所属】：人文科学研究科

【氏名】：荒木典子

【氏名フリガナ】：アラキノリコ

【職】：准教授

【研究課題名】：多民族国家清朝における文化接触と書記言語の研究

【研究実績の概要】

・ 配備した工具書、叢書類を参考に、2023年度科研費申請のための構想を練った。これまでは清初までの満漢言語接触の初期段階を対象としていた。乾隆年間には満洲語忘却が急激に加速したといわれているが、この時期の資料を見ると、それほど単純なものではなかったと考えられる。奏摺資料からは乾隆帝の母語および満洲族のアイデンティティを守ろうとする発言、具体的な指示が読み取れるし、康熙年間に出版された満洲語翻訳文芸作品は、写本として根強く出回っていた。母語の忘却はどこ（地域、階層、身分）で、どのように進行したのかを段階的に考察したうえで、それに対する当事者たちの考えや行動の実態を解明するという方針を固めた。

・ 第9回および第10回清代言語接触研究会（2019年度科学研究費・基盤研究（C）課題名「満洲語文献に基づいた東アジア言語文化史的研究」課題番号19K00578との共催）をハイブリッド形式で開催した。

【本支援を用いた研究基盤整備の達成状況について】

・ 清代の档案史料関連および満文碑石関連の叢書、周辺言語に関する工具書類を東京都立大学中文書庫に配備。

・ オンライン会議用に、書画カメラ4台を購入。東京都立大学のほか、明治大学、岩手大学に設置。

【外部資金への応募状況】

・ 2023年度科学研究費・基盤研究（C）に応募し、採択された。課題名：清代乾隆年間における満洲語の実状の研究 期間：2023年4月1日～2028年3月31日 4,290,000円（直接経費3,300,000円、間接経費990,000円）課題番号：23K00482

【研究分担額】

（研究代表者・分担者名,所属,金額（円））

荒木典子,東京都立大学人文科学研究科,100万円